

広島県中小企業団体中央会 2018年10月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比13.6%増加、前年同月比3.7%増加となり、売上高は前月比15.3%増加、前年同月比0.1%増加となった。

醤油を原料とする加工商品への販路は拡大しているものの、多くの組合員企業の出荷量、売上高は減少しており、業界の景況感は低調である。

繊維・同製品

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

各社、春・夏物の生産がスタートし、仕事量堅調に推移している。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県北部国産材加工協同組合

- ・原木不足により製材所の生産が計画通り進んでいない。
- ・原木高を製品価格に転嫁出来ず、収益状況が悪化している。
- ・秋需が例年に比べて低調である。
- ・災害により、林道が破損している上、復旧が遅れているため、丸太の搬出に影響が出ている。

●福山木材協同組合

平成30年7月豪雨の復旧作業も一段落し、その影響で遅れていた建築現場も通常通りの稼働となってきた。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年9月の全国の住宅着工戸数は81,903戸で前年同月比1.5%減少
- ・季節調整済年率換算値では94.3万戸(前月比1.6%減少)
- ・利用関係別では、持家は24,873戸で前年同月比変化なし、貸家は35,350戸で前年同月比5.8%減少、分譲住宅は21,064戸で前年同月比4.3%増加
- ・木造住宅の着工数は48,404戸で前年同月比変化なしとなった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で先月の増加から再び減少となった

<広島>

- ・広島県内の9月の着工戸数は1,399戸で前年比24.0%減少、このうち持家は467戸で前年比6.0%減少、貸家は580戸で前年比12.7%減少、分譲は329戸で前年比51.6%減少
- ・県全体の住宅着工動向も前年同月比で先月の増加から再び減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数617戸で34.8%減少、福山市が234戸で34.6%減少、廿日市市が53戸で19.7%減少の一方、東広島市が173戸で63.2%増加、呉市が75戸で41.5%増加、三原市は40戸で33.3%増加と地域ごとにばらつきがある結果となった。
- ・平成30年7月豪雨に続き9月は台風21号などの災害が相次ぎ、直接的被害以外に復興支援に絡んだ物資輸送や職人不足等のマイナス要因から市況は不安定で、全体として稼働は上向いているものの予想ほど需要活性化には達しておらず、地域・企業により繁閑差も顕著で、非住宅増加への期待もあるものの状況は依然厳しく、今後の動向をしっかり注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今月は、全日本印刷工業組合連合会の全国大会や「印刷産業夢メッセ」の開催等同業者が集まる機会が多く、業界にとっては厳しい時代ではあるが、各社の取り組み等を見聞きすることで決意を新たにしたい。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化は見られない。

大手企業のデータ偽造が問題となる中、ものづくりのガバナンス(決め事)を守っていかなければ、ユーザーからの信頼を失うことになりかねない。多忙な状況の中でも効率化することで、技術革新の都度ガバナンスを更新して行く必要がある。

豪雨や猛暑が影響し、労働者のメンタルが不安定になっている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

平成30年7月豪雨の影響も落ち着き、今月は平時の稼働状況に戻っている。

自動車関連の売上は、順調に推移している。

原油高が続いているため、今後は樹脂材料の値上げが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年10月 3,113m³ (前年比2.0%増加)

30年 9月 2,813m³

29年10月 3,053m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

車の部品メーカーは多忙であるが、一般機械関係は先行き不透明感が強い。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、生産量は不変であるが、出荷台数が少なく前月比50%減少、前年同月比21%増加となった。

出島工業会協同組合

先月から特に大きな変化はなく、やや好調に推移している。

役員の高齢化と世代交代が組合の喫緊の課題である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は、前月比2.0%増加であったが、製品や仕掛資材が水害により損失を被ったことと、一部の納期遅れにより前年同月比は5.8%減少となった。

国内の売上は昨年水準に戻りつつあるが、輸出は低迷している。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・10月の国内自動車販売台数は全需が419千台、前年同月比12.5%増加と2ヶ月振りの前年超え。登録車は前年同月比13.0%増加と3ヶ月振りの前年超え、軽自動車は前年同月比で11.7%増加と4ヶ月連続の前年超え。マツダ車は1.6%増加と2ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの9月の全需は1,432千台で前年同月比6.0%減少と3ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同17.4%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の9月の全需は1,329千台で、前年同月比19.8%減少と6ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同7.0%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・中国の9月の全需は2,796千台で、前年同月比3.2%増加。マツダ車は同25.4%減少と5ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の9月の海外販売合計台数は111千台、前年同月比11.6%減少で2ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比14.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比7.5%減少と3ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成30年10月の船舶建造許可実績は1隻23,600総トン(前月4隻373,500総トン、前年同月5隻278,400総トン)であった。なお、1隻は貨物船で輸出船である。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月から大きな変化はない。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

平成30年7月豪雨の復旧長期化に伴い、呉方面への物流には引き続き影響がある。人件費、物流費、副資材料費等が上昇傾向にあるが、販売価格への転嫁は難しく、収益環境は厳しい。

「資材関連」においては、新設住宅着工件数が減少、公共工事の請負金額も減少傾向である。復旧・復興需要は今のところない。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売店の被災から、売上が激減、加えて夏物の季節商品も低調に推移している。

「食品」においては、猛暑や豪雨災害の影響から外食産業は売上が減少。

「繊維」においては、人件費の上昇が影響し、販売先小売店も含め繊維関連は厳しい。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

今月は、新米が出回るため、1年で一番取扱量が増える時期である。今年の収穫量は災害の影響等もあり、平年並みからやや悪い状況である。米の価格が上がってきているため、売上高は前年同月比増加しているが、収益状況は変わらない。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県8月の住宅着工状況は、前年比15.2%増加、内訳としては持家が6.3%増加、分譲が5.6%減少、貸家14.0%増加となった。

原材料の高騰と運送費の値上げ等により、ブレーカー及び分電盤部材が値上りしている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

各地で畳表の展示やキャンペーンが開催されている。反響はあるも、商いには直結しない状況である。各畳店でも入用分を買っている状況である。極力在庫を持たず、都度必要となったものを買う傾向が強い。全体的に売れゆきはゆっくりで、今後に期待している。生産農家も市場相場を見ながらゆっくりとした製織体制のようである。

小売業

各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

野菜相場、魚相場の高値傾向は、当面の間、継続の見通しである。

相場高に伴い、値上げ分を販売価格に転嫁したため売上高は上がっているが、収益面では厳しい。

景気回復の要因が見当たらず、景況感は一時的な下降が続いており、底打ち感がない状況である。

協同組合三次ショッピングセンター

夏の花火大会が10月に延期開催され、当ショッピングセンターは会場から近いと客数は増加した。

競合店の大型衣料品店が閉店し、衣料品の売り上げが増加した。しかし、競合店跡地に新たな衣料品店の入店が決まったため、売上増加は長くは見込めない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比4.5%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.2%減少、冷蔵庫同3.9%減少、洗濯機同1.0%減少、IHクッキングヒーター同6.7%減少、電気温水器同1.1%増加、エアコン同3.8%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

原油の高騰が続く、買い控えも出てきている。

レギュラーガソリンの値段が160円/L以上になると販売量に大きく影響するようである。灯油の販売にも影響するのではないかと心配している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

廃業、自由脱退により組合員が3人減少した。

商店街にぎわい創出事業を活用したイベント開催を予定しており、人出に期待したい。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比5.7%増加、前年同月比7.3%増加。車検場収入は前月比8.1%増加、前年同月比7.9%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比19.1%増加、前年比8.7%増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

11月より資材の値上げが決まっているが、過剰在庫をする事業者は少ない。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

引き続き豪雨復旧関連の発注事案が増加傾向にあるが、短期的な案件が多く多忙な割に収益に繋がらない工事もあり、業界全体の景況感は一時的に鈍化している。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比62.8%増加、前年同月比38.1%増加となった。太陽光発電の今年度調達単価の権利獲得の申込み締め切りが11月9日までとなっており、駆け込み需要による増加である。締め切り前の一過性のもので、12月以降は減少するのではないかと危惧している。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、前月比18.0%減少、前年同月比10.1%減少した。前年累計費では0.1%増加となった。

県内大型商業施設は今年度内完成予定がなく、また住居も減少傾向である。

秋から内装材料、物流費が順次値上げとなる中、発注者に交渉し、仕入れ高の増加を売上高に転嫁出来るかが今後の収支に大きく影響する。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

今月の売上高及び貨物輸送量は、前年比、前年同月比とも大きな変化はない。売上高に変化はないが、軽油価格が毎月上昇しており、収益をかなり圧迫している。荷主に昨年以降、運賃値上げをお願いし、一部では多少上がったものの、毎月の軽油価格の上昇では、焼け石に水である。

さらに、ドライバー不足の中、来年4月から順次施行される働き方改革関連法案により、時間外労働の上限規制が導入されることとなり、運送業界では益々人手不足が深刻化することが懸念される。

広島輸送ターミナル協同組合

10月の荷動きは、7月～9月の反動増により活況となった。ドライバーや車輛不足のため多忙であったが、燃料価格の上昇により利益を相殺してしている。運賃は関東・中部・関西地域では4～5割上昇しているが、広島地域では1～3割程度の上昇となっている。今月の燃料価格は前年同月比約25%増加となった。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

平成30年7月豪雨等の影響がなくなりつつある。

しかし、燃料価格が3ヵ月連続で値上がりしており、荷動き、売上高は前月比、前年同月比ともに前年並みであったため、収益状況の悪化が懸念される。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月は、公的評価報酬の入金があったが、当月はないため、売上高等が減少した。前年同月比については公的評価報酬の単価が今年から下がったため、その分悪化している。一般評価は増えているが、公的評価が減少傾向にある。

不動産の地価は、平地部を中心に依然上昇傾向にある。マンション販売も高額物件の売れゆきが鈍化している。